



陽気は幸せの種

陽気だより

No.89

2014.8.15

●ホームページからも「陽気だより」
最新号・バックナンバーをご覧いただけます

<http://yotokusha.com/>

図書出版 養徳社 〒632-0016 天理市川原城町 388 TEL 0743 (62) 4503 / FAX 0743 (63) 8077

養徳社

検索

昭和32年2月号 から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年で65年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。

天理柔道の花

―全日本学生選手権者米田圭祐君を讃う―

西村静雄

(昭和三十二年当時
天御津建設社長)

たゆまぬ工夫と努力

第八回全日本学生柔道選手権大会の覇者は天理大学二年生、米田圭祐君にきまつた。

ときは昭和三十一年十一月十一日。場所は大阪府立体育館。わずか十九歳、五尺五寸、十八貫五百の小兵の同君が群がる強豪を向こうに廻して健闘よく有終の美を飾つた。

桜井市の大福小学校を卒えて、憧れの天理中学校より天理高校に進んできた彼は、当時まだ可愛い少年だった。彼が柔道部に入ってきたときなどは、こんな可愛い少年がよくやれるものか知らんと思つたほどだった。

しかし、努力のかいあって二年生になると、正選手とし

てどの試合にも出られるようになった。そして、そのころより彼特有の左利きの技にもだんだん切れ味をみせるようになり、数々の大会で天晴れの活躍ぶりをみせてきた。素直な反面、負けず嫌いの性格と恵まれた環境で彼の力は急速に伸び、ますます自信を加えていった。

ちようど、このころ（昭和二十八年六月）のことである。神戸市へ練習試合に出かけていった天理高校柔道部は、土曜日に一試合を行い、翌日の第二試合を灘高校と対戦することになった。両軍とも十人ずつで、三―三の大接戦の末、大将同士の決戦となり、場内は騒然となった。天理の米田選手は味方の期待を担って出

場した。

当時、三年生の彼は、ほとんど向かうところ敵はなく、敗けることはなかった。したがって、この試合も当然、彼の勝利に帰することは間違いなしと思われた。しかし、結果は逆だった。しかも極めて簡単に敵将に一回転させられたのだ。意外な結果に皆は一瞬、茫然自失、言葉もなかった。

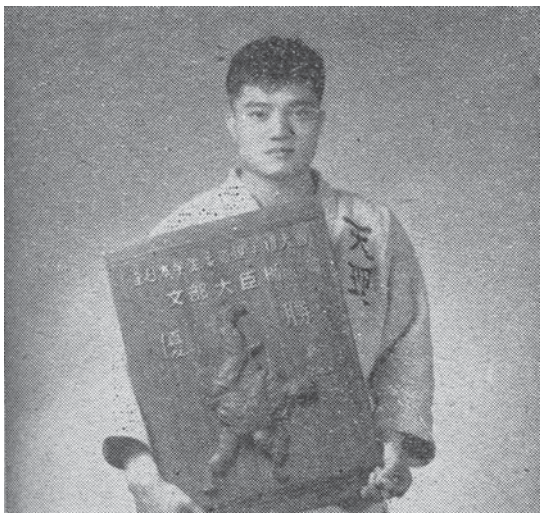
戦い終わって。両校チームの共話会で校長先生のねんごろなねぎらいの挨拶について、小生が天理チームを代表して謝辞を述べた。その中で、「今日の試合は最も意義があった。すなわち、わが方の米田が一敗地にまみれたこととであります。本人は最近、天狗になつていた矢先であり、高い鼻をへし折つていただいたお礼は何ものにも代えられない。本人の将来のためにはどれだけ幸いしたか測り知れない。彼こそは昨年誕生した天理短大の柔

道部へ入れて、ミッチリ仕込んで必ず今日のご恩返しをさせていただきます」

と特に強調した。ではなぜ、こんな席で無名であった米田選手のこと言及したかを説明しなければならぬ。

柔道らしい天理の柔道

昭和二十七年、各方面から注目を浴びながら、真柱様の深遠なる思召によって、天理短期大学保健体育科に柔道部が設けられた。ところが志望者が少なく、せつかくの意義深い計画がおざりにされている格好なので、私は、天理



高校から率先して入学させねばならないと考えていた。が、米田にしてみれば、もっと強い大学に入りますの一点張り、小生らの説得など頑として聞き入れてくれなかつた。そこで、いつかよい機会があれば、説得攻めにしても天理大学に入学させねばならない、その時がくるのを密かに待ち望んでいた。そうした時にちょうど、灘高校での敗戦が見られたのであつた。

幸い小生らの願いがかなえられて、彼は翻意して天理短期大学への進学を決心してくられた。

それからの彼は、いままで以上に精進に精進を重ね、他には見られぬ苦勞をなめてきたのである。食べ物も咽喉を通らなかつた日や、また、眠られぬ夜もあつたらう。しかし、わずか二年生にして輝かしい学生柔道界の王座に上つたのである。

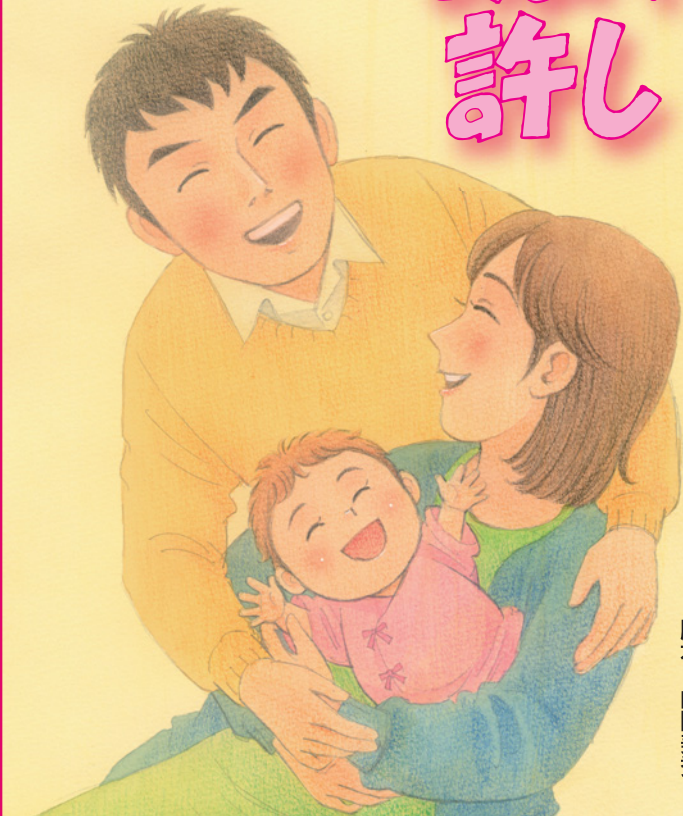
に味おうて余りある言葉である。

講道館長、嘉納先生は米田を評して、

「ひさしぶりに柔道らしい柔道が甦つた思いがする。体力の小さい者が、はるかに大きい者を投げる柔道こそが日本伝来の柔道である。米田君によつて柔道の真髓が発揮された」

と賞嘆せられた。好漢米田、自重自愛、更に前進されることを祈る――。

マンガ おびや 許し



作画：金巻とよじ
脚本：山岡美秀

9月10日発刊

A5判・フルカラー
200円＋税
図書出版 養徳社



『陽気』定期購読

お店まで買いに行くのが大変。忙しくて購入するのを忘れた。定期購読はそんな手間を省きます。毎月20日前後にご自宅宛に発送いたします。(例：9月号は8月20日ごろ) まずはお問い合わせください。

【定期購読料金】
1年分…3,420円(送料込)



購読に関する問合せ先 ☎ 0120-920-398 養徳社 業務部窓口

発刊28年
シリーズ **累計8万部突破!!**
深谷忠政著『続 身上さとし』
5刷出来!

続 身上さとし

一病の根を切る一

定価=864円(税込) 送料200円

※ご注文は前払いとなりますので定価に送料を加算して郵便振替にてご注文下さい。
(口座番号 00990-3-17694 加入者名 養徳社 通信欄に書名をお書き下さい)
〒632-0016 天理市川原城町 388 図書出版養徳社 業務部窓口 ☎ 0120-920-398
2冊以上のご注文は送料が異なりますので、業務部までお問い合わせ下さい。

Facebook で最新情報をチェック! <https://www.facebook.com/yotokusha>

この「陽気だより」を支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用くださいますよう、お願い申し上げます。
<書籍・陽気のご購入方法について>前払いをお願いしております。お近くのゆうちょ銀行に備え付けの振込用紙をお使い頂き、[住所、氏名、電話番号、書名(陽気希望月号)、冊数]を明記の上(振替口座番号**00990-3-17694番 加入者名(株)養徳社**)へご送金ください。手数料はお客様負担となります。ご入金を確認後、速やかに商品を発送させていただきます。ご不明な点は養徳社までお問い合わせ下さい。フリーダイヤル0120-920-398 養徳社 業務部